

福島原発事故から5年たった11日、各地で原発ゼロ、再稼働反対の行動が取り組まれました。

3/13 藤

# 原発ゼロへ3。11

## ■福井

福井県内ではデモ行進や宣伝、集会などが相次いで取り組まれました。福井市で実施された「原発ゼロをめざす市民行進」では、「危険な原発は止めよう」「福島とともに歩もう」と、声を合わせてアピールしました。原



行進する山田氏（最前列右）ら＝11日、福井市

## 東海・北陸信越のページ

# 運動の力 高浜止めた

## 各地で行動

発問題住民運動県連絡会の呼びかけで毎月続けられ、57回目で、県内では、関西電力高浜原発3、4号機（高浜町）の再稼働が強行されましたが、4号機が先月、発送電開始作業中のトラブルで原子炉が緊急停止。今月9日には、運転停止を命じる大津地裁の仮処分決定が出て、3号機も停止しました。日本共産党の山田が、お参院選挙区候補は「運動があつて、画期的な決定が出た」として、いっそうの運動を呼びかけました。福井市の女性（33）は「子どもたち、その次の子どもたちも安心して生きていける福井県にするため、原発はなくてはほしい」と話しました。

## ■名古屋

名古屋市中区の関西電力東海支社前と中部電力本店前では、原発廃炉への思いと震災犠牲者追悼のキャンドル行動がありました。関電前では約80人がろうそくに火をともし、輪になって思いを語りました。60代の女性には、世界では風力発電が原発の発電能力を上回っているとし「最悪の事故を起こした日本こそ再生可能エネルギーに力を入れてほしい」と訴えました。たけだ良介参院比例候補、すやま初美愛知選挙区候補もスピーチし、「原発ゼロへの思いにこたえたい」「原発と人類は共存できない」などのべました。

## ■岐阜

岐阜市金公園で、脱原発の市民団体による20回目の「さよなら原発・きか」キャンドルパレードが1500人の参加で行われました。冷たい風が吹き荒れる中、参加者は手製のペットボトルにロウソクで灯をともし、「さよなら原発、いのちが大事」「岐阜は風化、被ばくはいやだ」とコールしながら歩きました。集会では、戸田二郎代表が「大津地裁が高浜原発3、4号機の再稼働差し止めの仮処分を決定した。絶対に再稼働させてはならない」と述べ、福島から移住している小学6年の女子のメッセージも紹介され、「普通に生きるのが一番いい」と語りました。

## ■新潟

「なくそう原発新潟市民ネット」は、新潟駅前まで170回目を金曜日行進を行いました。会員の友人2人が東京から参加しました。

## ■富山

富山県の「いらんちや☆原発@富山」は、富山市のOIC前広場で178回目を金曜日行進にとりくみました。冷たい風が吹くなか、参加者は交代でマイクを握って訴え。福島原発事故から5年たっても、県内にもたくさん避難者はいいて、復興・生活再建のめどはたっていない。一日も早く安倍政権を退陣させ、原発ゼロ・再稼働中止にしよう」と発言がありました。

## ■石川

原発をなくす石川県連絡会は、金沢市のめいてつ・エムザ前で「志賀原発の廃炉を求める」署名と宣伝を行いました。恒例の替え歌では「青春時代」を合唱しました。県労連の長曾輝夫事務局長と憲法会議の尾西洋子事務局次長がマイクを持ち「原発再稼働などいらない。原発ゼロの日本を。志賀原発廃炉の署名にご協力を」と訴えました。大阪から旅行にきた夫婦が「大阪でも金曜日に行っています」と言って参加しました。



原発ゼロを訴えるデモ行進＝11日、新潟市

東海・北陸信越事務局 ☎0662(266)0476 FAX0662(266)0285  
北陸信越支局 ☎026(64)6073 FAX026(64)6074